

様式第3号（第13条関係）

会議録

会議の名称	朝霞市立朝霞第一小学校 令和7年度第5回学校運営協議会	
開催日時	令和8年3月17日（火） 午後3時30分から午後4時45分まで	
開催場所	朝霞市膝折町4-11-7 朝霞第一小学校 北校舎2階 なでしこ会議室	
出席者及び欠席者の職・氏名	出席者 朝霞第一小学校 校長 金子 二郎 朝霞第一小学校 教頭 加藤 淳子 朝霞市南西地区民生委員児童委員 藤田 康枝 元朝霞市副市長 關野 武男 元朝霞第四小学校 校長 内田 隆（委員長） 菩提樹の森幼稚園 園長 佐藤 順與 朝霞第一小学校 PTA会長 太田 剛 地域有識者・企業経営者 梶本 尚樹 欠席者 膝折宿町内会副会長 大橋 千栄子（副委員長） 朝霞第一小学校 学校応援団 石丸 梢	
議題	1 学校長あいさつ 2 これまでの学校経営について 3 協議及び懇談 4 その他	
会議資料	・次第 ・令和8年度学校経営方針案	
会議録の作成方針	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要点記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管（保存年限 年）	
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	<input type="checkbox"/> 会議録の確認後消去 <input type="checkbox"/> 会議録の確認後 か月
会議録の確認方法 校長による確認		
傍聴者の数	0人	
その他の必要事項		

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

【審議概要】

1、学校長あいさつ

(校長) 来週火曜日の卒業証書授与式についてのお願い。  
令和8年度学校経営方針について意見を頂戴したい。

2、これまでの学校経営について

(校長) 今年度についても、多くの方のお力添えで教育活動を推進できた。PTA活動についても、3回のイベントや授業にも力添えをいただいた。宿町内会・個別の児童支援についてもお力添えをいただいた。大人がしっかりと子供を見守るような体制を作った上で育てていかななくてはならない。その上で、令和8年度の経営方針について率直なご意見を頂きたい。

(内田委員長) 今までのことで何かご意見があれば。

(校長) ベースになっているのは、今年度の自己評価です。その部分をいくつか加筆修正したものを載せている。

(内田委員長) 来年度の経営方針の説明をお願いします。

(校長) 基本的には大きく変更はしていない。来年度の本校の教職員について、入れ替わりが大きい。まずは、今年度まで継続してきた一小のストロングポイントを生かしたものとした。今年度の学校評価を生かしたものをベースとしている。自分たちの活動について評価していただいている。一番としては規律ある態度ということで、小学生だから仕方ないか、ではなく、共通行動をもっと示していく必要がある。保護者のアンケートについては、様々な内容も寄せられている。行事一つとってもそうである。すべての保護者の要望に沿うのはなかなか難しいが、よりよくしていきたい。学校経営方針も変わりはないが、令和8年度、より力を入れて進めていきたい。すでに、毎週水曜日機能しているが、放課後児童教室としての活用が必要になるのではと考えている。教育委員会に限らず、外部支援を受けながら強化していきたい。溝沼の春祭りにおいて宿町内会長とも話したが、膝折の町で将来子供を育てたいと思えるようになってほしい。目指す学校につきましても、よりよく生きていく場になることを願っている。「教える教師としてのプライド」ということについては、協働的な学びを育む国語の授業について研修を進めてきた。授業の内容をよりよくしていこうという教師の意欲にもつながった。しかし、日常的に継続するには至っていないところもある。グループ内学力の差、個別の配慮についてはまだ十分ではない。個別具体的学びが必要である。個人的には「弱い敵と共存する」ということが必要と考えている。意見の相違がある者同士が認め合えるように。まず、「信頼の構築」について。教師として信頼されるように信頼関係を構築することが大切である。教員を志望する学生が減っていることは、ブラックであると言われているが、自分は恵まれている方だと思っている。教員はもっとできることがあるのではないかと思っている。「学力の向上について」は、次期学習指導要領の柱となるものである。新たな学校づくりが求められてきている。総合的な学習の時間を軸として探究的な学びを進めていこうということに朝霞市全体でなっているので、新たな学習指導の在り方について研究していく。本年度は体力向上に成果があったので、継続していき。藤田委員に個別の案件に深く関わってもらっており、地域学校協働活動本部を活用して不登校対策を進めていきたい。朝霞児童相談所にも強く働きかけをしていきたい。昨日

今日でも学級閉鎖が、市内小学校でも発生している。感染症の対応も含め、持続可能な取組をしていきたい。道徳教育の充実についても、子供と一緒に考えてもらいたい。共通理解・共通指導の徹底を図っていく。登下校時のあいさつを含めた関わりを地域の方にも協力していただきたい。「安全・安心な学校づくり」について、学校運営協議会の規則の改正を予定しており、それに基づいて令和8年度の経営方針を示している。業務量管理・健康管理・学校安全の推進についても協議して推進するようにとのことで、地震・火災・洪水の対応を前提とした上での教育活動。危機管理マニュアルの見直しをし、一人一人の活動に落とし込むことが必要。大規模災害を想定した上での対応・体制づくり。食料の確保については、町内会・放課後児童クラブについても協力をいただかなくてはならない。「業務量管理・健康管理」の意識。一部の職員に負担が偏っている。一小時の教育活動の継続が課題となっている。テレワークの推進について。延べ20人の職員がテレワークを取得している。フレックスタイムの導入は、稼業日には難しいが、勤務時間を柔軟に設定できる制度が導入されている。AIドリルの試験的な導入について試験的に活用・導入。人的活用・リソースの推進ということでさらに多くの人の活用を進めていく。学校徴収金を業務委託する方向で進めている。

(内田委員長) 皆様ご意見あればお願いします。

モジュールを入れたのが何年か前だと思うが、子供の学力的・教職員の勤務量的にはどうか。

(校長) 15分×3コマにしたことで、何かしら大きな差しさわりがあったわけではない。多くの学年で授業数を削減できた。特に1年生は金曜日に4時間授業を実施できた。これをふまえて、2年生についても、同じく金曜日に4時間授業を実施していく。

(佐藤委員) 幼稚園も参考になるものがある。受けた研修で驚いたのが、安全・安心な学校づくりで大きな災害が危惧されている。当たり前だと思っていたことが、アップデートされている避難姿勢の課題がある。手洗いの排泄もしっかりしなくてはならない。防災の長けている講師の指導が必要ではないだろうか。

(校長) 水が出なくなったらどうするのかということも考えなくてはならない。簡易トイレの用意や飲料水を用意しなくてはならないと考えている。

(關野委員) 第一小学校はハザードマップギリギリの位置である。

(藤田委員) 校庭の水たまりが気になる。

(關野委員) 一度最新の状態に見直しした方がよい。

(校長) 学校から泥水が流れるので、校庭整備をすれば落ち着いてくるかと思う。

車についてはジャムフレンドが避難地になっている。

(藤田委員) 避難所設置訓練に学校関係者や地域の方に連絡を回したらどうかと思う。

(校長) 夏休みなので職員に早めにアナウンスしていかなくてはならない。

(橋本委員) 水害の避難訓練については実施していないかもしれない。1回くらいは実施した方がいいかもしれない。

(藤田委員) 溝沼の方まで浸水するので、登下校でなってくるとあり得ることもある。

水害の避難訓練があれば想定できるかも。

(橋本委員) いずみ橋くらいだが、校庭まできたらどうなるのか、想定できない。そろそろ話しておかないといけないのか。黒目川氾濫の想定はしているのか。

(校長) 想定はしなくてはならない。

(橋本委員) かなり多岐にわたる内容。どう周知していくのか。いじめの問題もどう解決していくのか。具体的にどういうご指導をされるのか。

(校長) 安全・安心である項目を基に、生徒指導部会においていじめ対応をしている。

いじめに関しての生徒指導委員会で対応している。

(内田委員) 分掌組織図があると分かるのではないか。

(校長) ことあるごとに見直しをしていかななくてはならない。

(藤田委員) 若い先生たちが多くなるのか、と思うと、今後どう対応していくかを検討必要では。

(校長) 職員同士は仲が良いほうであると思っている。PTAのイベント・学習支援などが、職員に対して励みになっている。

(内田委員長) 来年度の経営方針については、このまま進めていくということで。

(橋本委員) 校長先生が変わってもこれを継続していくのか。

(校長) 基本的にはこのまま進めていく。

### 3、協議及び懇談

(關野委員) 地域学校協働活動本部の活用について、ナナコエフエムで地域の子供たちの声を伝えようという声が出てきた。そこで取材に来ると思うので、地域の部屋の活用を含め、ご協力をお願いしたい。

(太田委員) 運営委員の任期は8・9年度になりますか。

(校長) 任期途中での交代で手続をすることにある。

(關野委員) 学校評価の問題について、他の人の評価を見て評価するしかないのはどうか。

(校長) 外から見る評価も必要ではないか。ニュートラルな視点も必要だと思う。

(藤田委員) 何かあったら支えますよという姿勢を先生たちにも分かってもらい。

(校長) 外部の見方に自信がないというところもあるかもしれない。普段から見てもらっていけばいいとは言っている。子供ありきだけど、様々な人々にとっての生活の一部になっていけばと願っている。

(藤田委員) 保護者の相談もしてくれる。

### 4、その他

(教頭) 今後の連絡について